

＜第4回 竜神地域会議 会議録＞

日 時 令和8年7月28日（火） 18:00～19:30
場 所 竜神交流館 大会議室
出席者 委 員 18名（欠席者1名）
事務局 酒井支所長、青井副支所長、松原副主幹、倉地主査
オブザーバー 長谷川交流館長

1 会長あいさつ〈省略〉

2 報告事項

以下について、事務局から説明

（1）第3回竜神地域会議会議録について

（2）竜神地域課題解決事業の進捗について

①安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」の進捗について

・令和8年7月16日（木）、竹下自治区の交通安全立哨に対し、移動式赤色回転灯の貸出支援を行った。

・移動式赤色回転灯は、過去の実証実験において車両速度の低下やドライバーへの注意喚起の効果が確認されていることから、地域の交通安全活動に活用している。

・今後、自治区、企業、その他団体等が立哨活動を行う際には、必要に応じて移動式赤色回転灯の貸出が可能である旨の案内をするとともに、立哨活動時は熱中症に注意するよう呼びかけた。

（3）高岡4地域合同事業の進捗について

①世界ラリー選手権を生かした交通安全啓発事業の進捗について

・令和8年6月20日（土）に開催されたマイタウンおいでん高岡において、ラリー周知と交通安全啓発に関するブースを出展した。

・内容として、ラリーカーとの綱引き、交通安全ドリルを実施し、150人が参加した。

3 協議事項

（1）竜神地域の地域課題に対する取組案について（防災・交通安全・防犯）

・前回会議で整理した地域課題及び投票結果を踏まえ、今回の協議対象を防災（①情報：防災情報が届いていない、②自助（意識・行動）：自分で備えることの大切さが伝わっていない）、交通安全（③行動：自動車（歩行者優先の意識が低いなど）、自転車（逆走、一時停止無視など）のマナー不足）、防犯（④自転車盗の認知件数が非常に多い。そのうち、前年比が最も高くなっている）に関する4つの課題にする旨を説明した。

〈委員〉防災情報とはどういったものか。

〈事務局〉それも含めてグループで協議してほしい。情報がどういうものか、誰に届いていないのかという前提を揃えたうえで、取組案を検討してもらいたい。

・A～Dグループに分かれて協議を行った。その後、以下のとおり各グループから発表を行い、全体で取組案を共有した。

【各グループから出た主な取組案】

○防災

- ①情報：防災情報が届いていない
 - ・防災ハンドブックの見直し
 - ・携帯しやすい啓発資料の作成
 - ・広報誌等を活用した啓発
 - ・地域行事等を活用した防災啓発
- ②自助（意識・行動）：自分で備えることの大切さが伝わっていない
 - ・防災備蓄品の展示・試食会
 - ・アプリ、回覧板等による情報発信
 - ・最低限必要な備蓄量の周知

○交通安全

- ③行動：自動車（歩行者優先の意識が低いなど）、自転車（逆走、一時停止無視など）のマナー不足
 - ・V R等を活用した体験型交通安全教育
 - ・啓発資料の配布
 - ・移動式赤色回転灯の活用
 - ・地域向け交通安全講習会

○防犯

- ④自転車盗の認知件数が非常に多い。そのうち、前年比が最も高くなっている
 - ・自転車盗難防止に関する啓発活動の強化

【今後の進め方】

各グループで出された意見を参考に、令和9年度どのような取組が実施できるかを次回の地域会議までに整理し、提案する旨の説明をした。

4 その他

以下について、事務局から説明

（1）竜神地域会議だよりの発行について

- ・4月に撮影した写真を使用し、竜神地域会議だよりを8月号として竜神交流館に掲示する予定である。
- ・区長会で了承が得られた場合には、自治区にも掲示できるよう調整したい。

（2）高岡支所管内での交通死亡事故の発生について

- ・令和8年6月29日（月）午後2時頃、若林西町の交差点付近において交通死亡事故が発生した。交通死亡事故警報の期間は終了したが、引き続き運転及び歩行時の交通安全に注意するよう呼びかけた。

★次回開催

第5回定例会：令和8年8月25日（火）午後6時から 場所：竜神交流館多目的ホール